




会派名 創風会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		

区分	事由	費目金額				小計
1	調査研究費 安積疎水・安積開拓に関する視察	交通費	96,200	旅費		96,200
		資料作成費		調査委託費		
2	研修費	会場費		講師謝金		
		交通費		旅費		
		資料作成費		食糧費		
3	広報費	会場費		交通費		
		資料作成費		広報誌(紙)		
		送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		
		振込料				
4	広聴費	会場費		交通費		
		資料作成費		茶菓子代		
5	要請・陳情活動費	交通費		旅費		
		資料作成費		振込料		
6	会議費	会場費		交通費		
		資料作成費		振込料		
7	資料作成費	印刷製本費		翻訳料		
		振込料				
8	資料購入代	法規追録代		参考図書代		
		有料データベース等利用料		振込料		
9	人件費	賃金		社会保険料等		
10	事務所費	備品購入費		事務機器等リース代		
		印刷代		振込料		
11	通信運搬・自動車燃料費	電話料等(按分)		郵便料等		
		その他				
使用者	山口信雄 	H28年8月5日	現金出納簿 支出番号	27	合計	96,200 円

支出明細書兼支出証明書

支出番号 27

区 分				※該当する区分に○印		費 目 名	
① 調査研究費	2 研 修 費	3 広 報 費	4 広 聴 費			交通費	※該当する支出費目を記入
5 要請・陳情活動費	6 会 議 費	7 資料作成費	8 資料購入費				
9 人 件 費	10 事 務 所 費	11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等）					
支 出 目 的 (支出事由)		安積疎水・安積開拓に関する視察					
内 容		大型バス1台1日借り上げ代金として (行程は、別紙行程表のとおり)					
支 出 年 月 日	支 出 先	総 支 出 金 額	按 分 率	政 務 活 動 費 からの 支 出 額			
H28年8月3日	(株) 孫の手 	96,200 円	なし 1/2	96,200 円			
上記のとおり支出します。							
議員氏名 山口信雄 							

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄


領 収 証

金額 ¥96200-

No. _____

但 バス代金として

平成28年8月3日 上記正に領収いたしました



福島県郡山市安積町長久保一丁目2番地の1
株式会社 孫 の 手
代表取締役 山口 松之進

消費税額等(%) _____

コクヨ ウケ-92

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

平成28年度 創風会 行政調査行程表

1 行程

□平成28年7月11日(月)



※現地視察

三柱神社、田子沼分水工、上戸取水場、十六橋水門、小石ヶ浜水門、沼上発電所・沼上瀑布、玉川堰、熱海頭首工・丸守発電所・安積疏水神社、熱海疏水橋、第一分水、中央公民館、麓山の滝、開成山大神宮・安積開拓についての説明

2 人員

16名

鈴木 祐治	議員
大内 嘉明	議員
今村 剛司	議員
七海喜久雄	議員
遠藤 義裕	議員
佐藤 政喜	議員
久野 三男	議員
近内 利男	議員
諸越 裕	議員
塩田 義智	議員
佐藤 徹哉	議員
大木 進	議員
浜津 和子	議員
山口 信雄	議員
佐藤 栄作	議員
森合 秀行	議員

3 調査内容

◆ 7月11日(月)

9:40~17:15

・日本遺産認定となった安積開拓・安積疏水開さく事業の現地視察による今後の観光誘客等への施策の活かし方について

4 その他

「郡山水と緑の案内人の会」案内人の同行により説明を受ける。
郡山水と緑の案内人の会 連絡先 Tel: 944-9110

創風会行政調査

日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」安積疏水・安積開拓に関する視察

平成 28 年 7 月 11 日、創風会 16 名の議員により日本遺産「未来を拓いた『一本の水路』」安積疏水・安積開拓に関する視察を郡山水と緑の案内人のボランティアスタッフ 3 名の方の案内にてバスによる移動で視察を実施した。

まず、郡山市役所本庁舎前を午前 9 時に集合し、創風会大内会長や郡山水と緑の案内人の会長の挨拶の後、午前 9 時 10 分に出発し、まず三柱神社・疏水路を見学し、その後田子沼分水工を見学、その後山潟頭首工跡・上戸取水場を見学、最後に十六橋水門・ファンドールン像を見学し午前の視察を終えた。

昼食は、猪苗代湖に近い三四郎にて更科蕎麦を一同で食した。サービスで出された地元の山菜や漬物が非常に美味しく観光客にも喜ばれるのではないかと思った。

その後、午後から再び視察に入り、小石ヶ浜水門を車窓より見学の後、沼上発電所、沼上瀑布の見学し、玉川堰を見学、熱海頭首工・丸守発電所・安積疏水神社を見学、ユラックス熱海でトイレ休憩の後、車窓から熱海疏水橋を見学、その後第一分水を見学、開成山大神宮周辺の安積開拓に関する碑の説明を受け、最後に麓山の滝を見学し、午後 5 時近くに郡山市役所に戻り無事視察を終了した。

今回、ボランティアスタッフの方の案内で、歴史的経緯など踏まえながら安積疏水や安積開拓に関する史跡を丁寧な解説を交えて訪ねることができ、非常に有意義であった。

一方で、観光面で考えた場合いくつかの課題が見えてきたので記しておきたい。1 つ目は、各見学地の景観等の改善が必要に感じた。例えば、今回の日本遺産の構成文化財には含まれていないが非常に魅力ある観光地である田子沼分水工を見学した際であるが、まず入口建物の外壁が板材などで修繕されていて非常に見栄えが良くなく、また建物周辺の雑草等の管理もきちんとしおらずせっかくの観光資源が台無しとなっていた。2 つ目は、田子沼分水工は安積疏水事務所、沼上発電所は東京電力へと事前に申請して許可がないと立ち入ることが出来ない施設が多く、観光という視点で考えた場合どのように関係各所機関との調整を図って魅力ある観光資源にしていくのか早急に対応を図るべきと思った。3 点目は、インバウンドや県外からの観光客向けに短時間で安積疏水の醍醐味を感じることが出来る観光ルートなど観光客のニーズに合わせた日本遺産巡りができるように市当局が率先して関係各所と協議しながら観光ルートを開発すべきではないかと感じた。私見ではあるが、インバウンドや県外観光客を対象とした場合、①田子沼分水工、②山潟頭首工跡・上戸取水場、③十六橋・ファンドールン像、④沼上発電所・沼上瀑布、⑤熱海頭首工・丸守発電所・安積疏水神社、⑥開成山大神宮、⑦麓山の滝がメインになるようなコース設定が良いのではないかと感じた。

文責 森合秀行（創風会）



郡山市議会「創風会」

安積疏水めぐりバスツアー行程表

郡山水と緑の案内人の会

日時 平成28年7月11日(月)

時間 9:00～16:45

人数 17名程度

※予定どおりの時間配分が出来ないときもありますので御諒承下さい。

案内者 郡山水と緑の案内人

集合場所 郡山市役所本庁舎入口東側 (9:00 集合) 乗車、出発：9:10

◆三柱神社	到着	9:40	疏水路見学
	出発	10:00	
◆田子沼分水工	到着	10:20	トイレ有り
	出発	10:45	
◆上戸取水場	到着	11:10	③←リーフレット番号
	出発	11:30	
◆十六橋水門	到着	11:50	①
	出発	12:15	

◆ 昼 食

出発 13:00

◆小石ヶ浜水門 車窓より遠望します。

◆沼上発電所	到着	13:30	⑥
沼上瀑布	出発	14:00	
◆玉川堰	到着	14:15	⑨
	出発	14:30	
◆熱海頭首工	到着	14:00	丸守発電所 ⑩
	出発	14:30	疏水神社

◆ユラックス熱海 トイレ休憩

熱海疏水橋車窓見学

◆第一分水	到着	15:00	⑫
	出発	15:20	
◆開成山大神宮	到着	15:40	安積開拓について説明 トイレ有り ⑬
	出発	16:00	
◆麓山の滝見学	到着	16:15	
	出発	16:30	
◆市役所	到着	16:45 (解散)	

(各自出発時間に遅れないようにしましょう)

安積疎水通水後の郡山市内への工場誘致状況

- 明治二三 正製組（製糸会社）設立
- 明治二四 真製社（製糸会社）設立
- 明治一五 疎水通水
- 明治三一 郡山絹糸紡績設立↓（日東紡郡山工場）
- 同 安積疎水を利用した沼上発電所完成 工業用電力
- 明治三九 専売局郡山製造所設置
- 大正 元 片倉製糸岩代工場設立（日東紡の前身）（現在の三菱電機の土地）
- 大正 四 片倉組絹糸紡績所設立（現在の星病院のところ）
- 大正 五 東洋ソーダ郡山工場（現在の保土ヶ谷）
- 同 小口組製糸所設立
- 同 郡山電気会社設立（郡山絹糸紡績より分離）
- 大正 六 大日本紡績設立↓日東紡第二工場
- 大正 七 日本化学工場設立
- 大正 九 日本国有鉄道郡山工場設置
- 大正一一 名古屋紡績設立↓昭和一一 日東紡第三工場（現在のパラマウント）
- 大正一二 日東紡郡山工場設立（現在の麓山の杜公園）
- 大正一三 日東紡第二郡山工場設立（現在のモール）
- 昭和一一 日東紡富久山工場創業
- 昭和一三 東北振興アルミ工場設立
- 昭和一八 三菱電機郡山工場設立（片倉製糸岩代工場の跡地）
- 同 県南交通設立（現在の福島交通）

日東紡績

昭和二八年（一九五三）の従業員数

郡山工場（現在の麓山の杜公園）	八九五名
郡山第二工場（現在のモール）	一三七三名
郡山第三工場（現在のパラマウント）	七五〇名
富久山工場（現在も操業中）	一三九八名

合計 四四一六名

参考文献

- 郡山の歴史 平成一六年発行 郡山市発行
- 回顧参拾年 昭和二八年発行 日東紡績発行
- 安積疎水百年史 昭和五七年発行 安積疎水発行

郡山水と緑の案内人の会 作成

県内の古い用水路開削年代

伊達市の西根堰 寛永2年 (1625)

いわき市平の小川江筋 明暦元年 (1655)

いわき市平の愛谷江筋 延宝3年 (1675)

会津若松市の戸ノ口堰 元和元年 (1615)

猪苗代町上山下堰 万治元年 (1658)

猪苗代町^{はにた}土田用水堰 延宝2年 (1674)

本宮町岩色疏水延長 元和元年 (1615)
仁井田村 関下村 荒井村等が開村

丹羽家の二本松赴任は 寛永20年 (1643)

二本松二合田用水

承応元年(1652) ~ 万治元(1658)

山岡権右衛門の招きで二本松に来た 磯村文蔵により完成

会派名

創風会

支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目・金額				小計	
1	調査研究費	行政調査に係る旅費（鳥取市、横須賀市、江戸川区）	交通費	旅費	576,360	自動車燃料費	576,360
			資料作成費	調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費	講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	食糧費		振込料	
3	広報費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	広報誌（紙）		報告書等印刷費	
			送料（折込料含む）	ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料				
4	広聴費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費	旅費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
6	会議費		会場費	交通費		自動車燃料費	
			資料作成費	振込料			
7	資料作成費		印刷製本費	翻訳料		筆耕料	
			振込料				
8	資料購入費		法規追録代	参考図書代		新聞雑誌等購読料	
			有料データベース等利用料	振込料			
9	人件費		賃金	社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費	事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代	振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等（按分）	郵便料等		自動車燃料費（按分）	
			その他				
使用者	共通	ⓐ 支出年月日	2028年9月23日	現金出納簿 支出番号	35	合計	576,360 円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 35

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 大木 進



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求額	¥	5	7	6	3	6	0	円	(1人あたり 96,060円) 別紙、旅費計算書のとおり
目的	行政調査								
用務先	鳥取市・横須賀市・江戸川区								
内容	鳥取市役所 ○リノベーションによるまちづくりについて ○定住促進の取り組みについて								
	横須賀市役所 ○都市イメージ創造発信アクションプランについて ○空き家対策について								
	江戸川区役所 ○読書改革プロジェクトについて ○すくすくスクールについて								
期間	平成28年10月19日 ～ 平成28年10月21日（2泊3日）								
行程	別紙の通り								
出張（調査等）者氏名	(代表者) 大木 進 ・佐藤政喜 ・諸越 裕 ・浜津和子 ・山口信雄 ・佐藤栄作								
特記事項	無し								

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

代表者	経理責任者		受理日	H28年 9月23日
			許可日	H28年 9月23日
			支出日	H28年 9月23日

上記金額を受領しました。

平成28年 9月23日

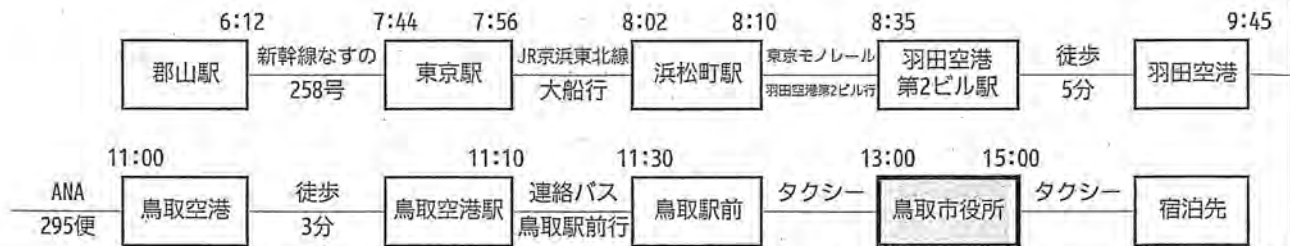
申請代表者氏名 大木 進



平成28年度 創風会行政調査行程表

1 行程

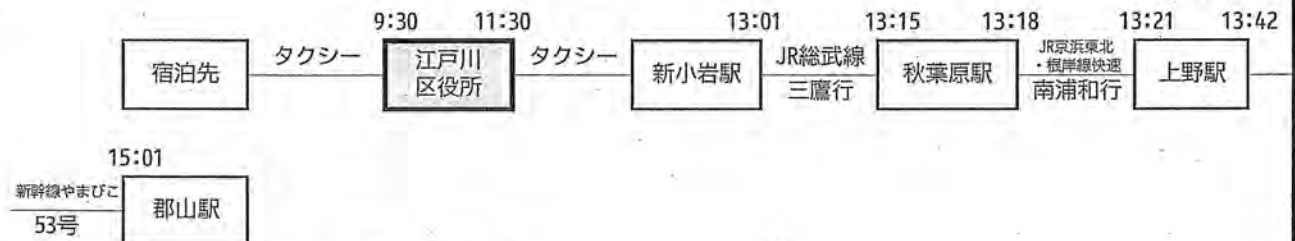
□1日目：平成28年10月19日（水） **鳥取市：リノベーションによるまちづくり、定住促進の取り組みについて**



□2日目：平成28年10月20日（木） **横須賀市：都市イメージ創造発信アクションプラン、空き家対策について**



□3日目：平成28年10月21日（金） **江戸川区：読書改革プロジェクト、すくすくスクールについて**



2 調査者 6名

佐藤 政喜 議員
 諸越 裕 議員
 大木 進 議員
 浜津 和子 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員

3 調査内容

- (1) 平成28年10月19日（水） 13:00～15:00
 鳥取市役所
 ・リノベーションによるまちづくりについて
 ・定住促進の取り組みについて
- (2) 平成28年10月20日（木） 13:00～15:00
 横須賀市役所
 ・都市イメージ創造発信アクションプランについて
 ・空き家対策について
- (3) 平成28年10月21日（金） 9:30～11:30
 ・読書改革プロジェクトについて
 ・すくすくスクールについて

4 連絡先

○鳥取市議会事務局（担当：笠松様）
 〒680-8571 鳥取市尚徳町116
 TEL 0857-20-3343

○横須賀市議会事務局（担当：高橋様）
 〒238-8550 横須賀市小川町11
 TEL 046-822-9394 FAX 046-824-2663

○江戸川区議会事務局（担当：山辺様）
 〒132-8501 東京都江戸川区中央1丁目4番1号
 TEL 03-5662-6736







出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 35

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。



出張（調査等）議員名

・(代表者) 大木 進		・	ⓐ
・佐藤政喜		・	ⓐ
・諸越 裕		・	ⓐ
・浜津和子		・	ⓐ
・山口信雄		・	ⓐ
・佐藤栄作		・	ⓐ

記

期 間	平成28年10月19日 ~ 平成28年10月21日 (2泊 3日)					
目 的	行政調査					
用 務 先	鳥取市・横須賀市・江戸川区					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果	別紙の通り					
旅 費 精 算	受領額	576,360 円	精算額	576,360 円	返納額	0 円

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

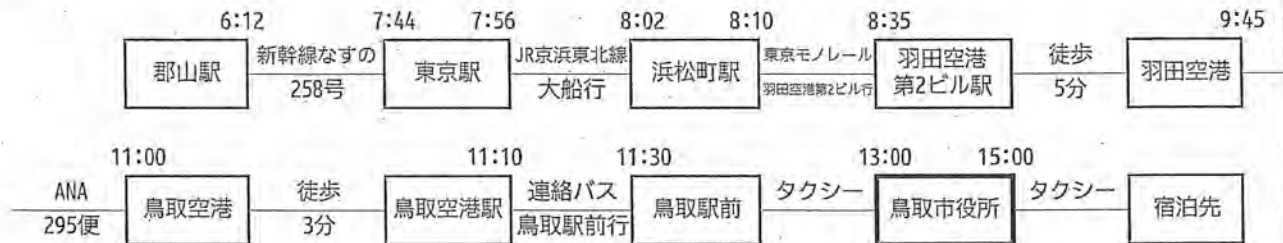
代 表 者	経 理 責 任 者		受 理 日	H28年11月7日
			確 認 日	H28年11月7日
			精 算 日	H28年11月7日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成28年度 創風会行政調査行程表

1 行程

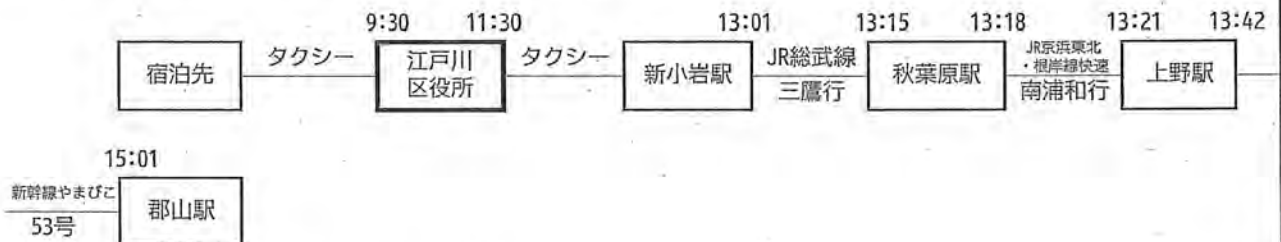
□1日目：平成28年10月19日（水） **鳥取市：リノベーションによるまちづくり、定住促進の取り組みについて**



□2日目：平成28年10月20日（木） **横須賀市：都市イメージ創造発信アクションプラン、空き家対策について**



□3日目：平成28年10月21日（金） **江戸川区：読書改革プロジェクト、すくすくスクールについて**



2 調査者 6名

佐藤 政喜 議員
 諸越 裕 議員
 大木 進 議員
 浜津 和子 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員

3 調査内容

- (1) 平成28年10月19日（水） 13:00～15:00
鳥取市役所
・リノベーションによるまちづくりについて
・定住促進の取り組みについて
- (2) 平成28年10月20日（木） 13:00～15:00
横須賀市役所
・都市イメージ創造発信アクションプランについて
・空き家対策について
- (3) 平成28年10月21日（金） 9:30～11:30
・読書改革プロジェクトについて
・すくすくスクールについて

4 連絡先

○鳥取市議会事務局（担当：笠松様）
 〒680-8571 鳥取市尚徳町116
 TEL 0857-20-3343

○横須賀市議会事務局（担当：高橋様）
 〒238-8550 横須賀市小川町11
 TEL 046-822-9394 FAX 046-824-2663

○江戸川区議会事務局（担当：山辺様）
 〒132-8501 東京都江戸川区中央1丁目4番1号
 TEL 03-5662-6736

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
佐藤 政喜 様

B No 014991

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28 年 10 月 26 日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790

但し 10/19 航空券代として
10/19 羽田へ乗取 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
佐藤 正喜 様

B No 014992

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28 年 10 月 26 日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790

但し 10/19 航空券代として
10/20 鳥取へ羽田 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 剣風会
諸 君 様

B No 014987

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月

下記の金額正に領収いたしました。

¥16,790

但し 10/19 航空券代金として
10/19 羽田～高取 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 剣風会
諸 君 様

B No 014990

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月 26日

下記の金額正に領収いたしました。

¥16,790

但し 10/19 航空券代金として
10/20 高取～羽田 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
又又 様

B No 014982

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月 25日

下記の金額正に領収いたしました。

¥16,790*

但し 10/19 航空券代金として
10/19 羽田へ鳥取 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
又又 様

B No 014984

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月 25日

下記の金額正に領収いたしました。

¥16,790*

但し 10/19 航空券代金として
10/20 鳥取 - 羽田 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JT B東北

郡山市議会 創風会
辻津 和子 様

B No 014981

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月 25日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790*

但し 10/19 航空券代金として
10/19 羽田〜鳥取 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JT B東北

郡山市議会 創風会
辻津 和子 様

B No 014979

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月 25日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790*

但し 10/19 航空券代金として
10/20 鳥取〜羽田 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
山口 裕雄 様

B No 014980

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月 25日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790*

但し 10/19迄 航空券代として
10/19 羽田〜鳥取 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
山口 裕雄 様

B No 014978

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28年 10月 25日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790*

但し 10/19迄 航空券代として
10/20 鳥取〜羽田 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
佐藤 栄作 様

B No 014985

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28 年 10 月 25 日

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790 円

但し 10/19 恐 航空券代金として
10/19 羽田へ鳥取 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

領収証 RECEIPT



株式会社 JTB東北

郡山市議会 創風会
佐藤 栄作 様

B No 014986

法人営業郡山支店
〒963 郡山市中町10-14和久屋ビル2F
-8004 TEL 024(932)0657
FAX 024(933)6620

平成 28 年 10 月

下記の金額正に領収いたしました。

¥ 16,790 円

但し 10/19 恐 航空券代金として
10/20 鳥取へ羽田 (行政調査)
(10/18 現金入金分)

領収個所名、領収者印の無いもの及び金額訂正のもの並びに
複写記入式でないものは無効です。

出納責任者	取扱者

収 入
印 紙

鳥取市：リノベーションによるまちづくりについて

年々、鳥取市の中心市街地は、空き家・空き店舗等、遊休不動産の増加が進んでおり、平成25年度のデータでは、空き家・空き店舗数が220軒以上、商店街エリアの空き店舗率は約12%となっていた。そこで、中心市街地活性化の取り組みとして、中心市街地活性化基本計画を策定し、街なか居住の推進、賑わいの創出を目的とし、商店街アーケード改修等のハード事業と空き店舗新規出店支援等のソフト事業を行ってきたが、公共事業は、財源縮小により新たなハード整備は困難な状況となり、また、補助金による誘導では、予算の制限、活用不足、補助金依存等の課題も見えて行政主導の政策のみでは限界があると感じ、市民が主役となり、市民自らがまちづくりを進める、民間主導のまちづくりを促進したいと、リノベーションまちづくりの取り組みを進めている。リノベーションとは、不動産の用途や機能を変更して、性能を向上させたり、付加価値を与えることで、リノベーションまちづくりはリノベーション手法による遊休不動産の利活用を手段とし、建物単体のみではなく、エリアの価値を向上させることを目標とし、テナント先付け方式、補助金に頼らない民間自立型という特徴がある。その取り組みの中に、遊休不動産の活用を通じた都市再生手法を学び、実際に体験するリノベーションスクールの開催があり、ユニットマスターと呼ばれる専門家の指導のもと、全国から集まった受講生が三日間かけて、まちに実在する遊休不動産のリノベーション事業プランを企画する。そして企画した事業プランを不動産オーナーと市民にプレゼンテーションし、スクール後の実事業化を目指すもので、実際、元喫茶店だった物件をブックカフェにしたり、ミニ遊園地的な遊戯コーナーがあった駅前百貨店屋上を夏季のみだがピヤガーデンとして利用したりこのリノベーションスクールにより遊休不動産の利活用がなされている。本市においても空き家・空き店舗数は今後増加すると予想されることから、鳥取市の取り組みに不ならい、行政主導だけでなく民間主導の施策も促進し、官民協働の政策により中心市街地の活性化に繋げるべきと感じた。

鳥取市：定住促進の取り組みについて

鳥取市では、便利さと田舎らしさが共存するコンパクトシティを売りとして、ライフスタイルにマッチした鳥取暮らしを全力で支援する移住定住支援を行っており、定住促進事業として、平成18年9月から、鳥取市定住促進・Uターン

相談支援窓口を開設し、若者や団塊の世代を中心に移住定住（UJI ターン）の促進に積極的に取り組んでおり、平成28年2月末現在、931世帯1,852人が鳥取市に移住定住している。また、(株)宝島社 田舎暮らしの本2月号では2016「移住者の受け入れ人数」全国第2位を獲得し、「日本住みたい田舎ベストランキング」総合ランキングで4年連続トップテン入りを果たしている。なぜこれほどまでに移住定住人口が増加したかという点、交通網の整備による関西・山陽へのアクセスの向上や、食・温泉・伝統文化等の魅力があるが、住まい、仕事、結婚・子育て、移住体験等の移住定住者に対する支援事業が充実しているからだと感じた。その中でも、特徴的なのは、専任相談員を配置している点であり、多くの移住者が定住を決めたきっかけとなったのが、この専任相談員の存在とのことである。平成28年1月10日には、鳥取市移住・交流情報ガーデンがオープンし、ここには移住定住コンシェルジュを3名配置し、移住希望者に対する情報発信の拠点として、市民生活紹介、現地案内、各種情報提供、お試し施設管理運営、ガーデンでの交流会・相談会を行っている。本市においても、今後人口減少は避けられない状況下にあるが、鳥取市の取り組みにあるように、セールスポイントをしっかりと確立させたいと、支援策を講じ、移住定住人口の増加を目指し、少しでも人口減少に歯止めを掛ける取り組みが必要だと強く感じた。

(文責： 創風会 佐藤 栄作)

福島県郡山市議会 様	
日 付	平成28年 10月 19日
担 当 課 (担 当)	企画推進部地域振興局地域振興課 (安本 里美)
電 話	0857-20-3189

移住定住の取り組みについて

鳥取市



市の予定
↓
講師の経験
500万

〇 市内まちづくり
手と足

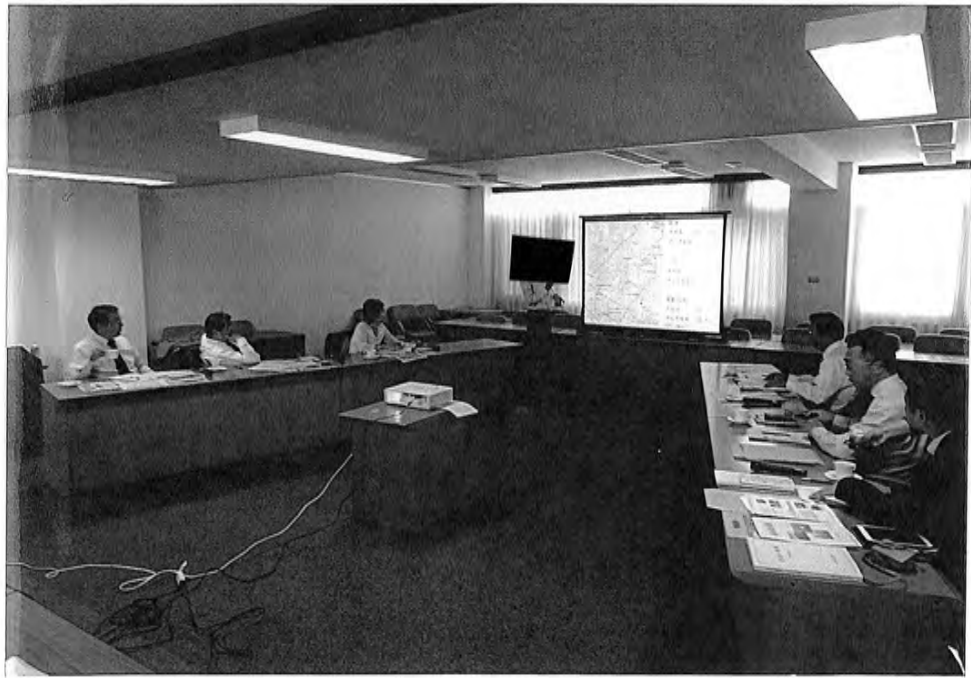
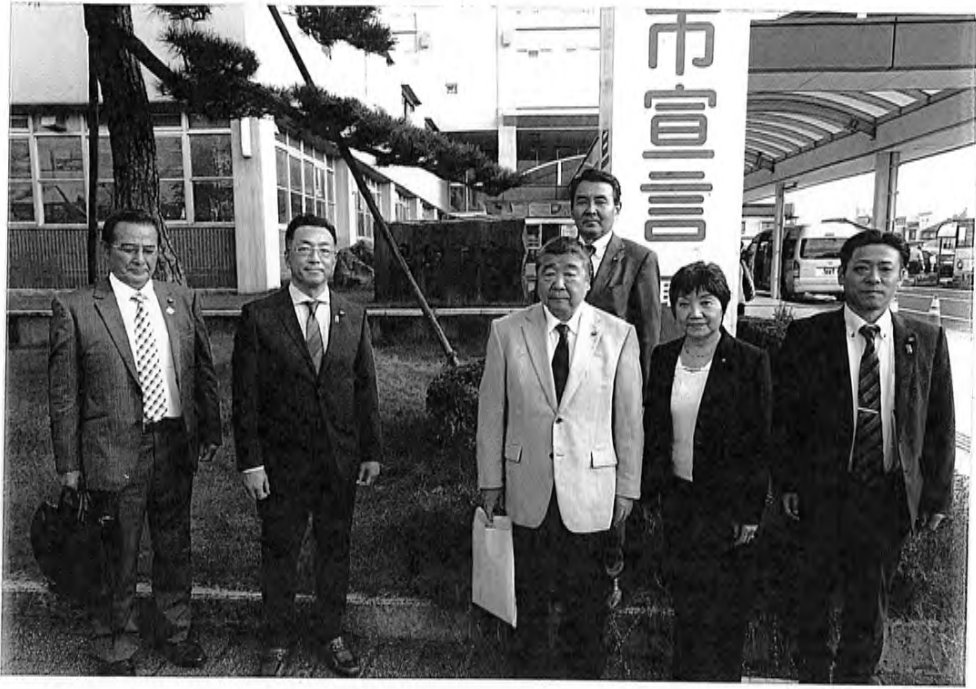
〇 30日開催
北九州他自治体等と連携



トヨタ社長さんへのインタビューから集めた
↓
街外ハラス等..



Blank lined area for notes.



鳥取市議会事務局
調査係

主任 **前田 英樹**
Hideki Maeta

〒680-8571 鳥取市尚徳町 116 番地
TEL0857-20-3343 FAX0857-20-3049
Email [REDACTED]
URL.http://www.city.tottori.lg.jp



第9期展示
2016 2017
4/16>1/3



鳥取砂丘

鳥取市議会

副議長
田村 繁己

事務局 〒680-8571 鳥取市尚徳町 116
電話 (0857) 22-7711
FAX (0857) 20-3049
自宅 〒680-1111 鳥取市若葉台北四丁目2-6
電話・FAX (0857) 52-0966
携帯 [REDACTED]

再生紙使用



鳥取市都市整備部 中心市街地整備課
課長 **中村 理人**

〒680-8571 鳥取県鳥取市尚徳町 116 番地
TEL 0857(20)3275 FAX 0857(20)3048
[REDACTED]



鳥取市企画推進部
地域振興局地域振興課

参事 兼 移住定住促進係長

安本 里美

〒680-8571 鳥取市尚徳町116番地
TEL (0857) 20-3189 FAX (0857) 21-1594
E-mail [REDACTED]

横須賀市

都市イメージ創造発信アクションプラン

横須賀市は、三浦半島中央部に位置し、人口 40 万 5 千人を有している。都心まで直線距離にして 50 キロ圏内であるものの、三浦半島地域は高齢化(30%)が進み人口減少も進行している。2035 年には 33 万人まで減少することが予測されており、将来への危機意識から平成 20 年 2 月「定住促進アクションプラン 2008」を策定し、転入と転出の差し引きから生じる社会減の解消に取り組んできた。

具体的な取り組みとして 2 つの助成制度を実施し、平成 25 年この制度の効果を検証した結果、人口社会減の圧縮など一定の効果があったが、総事業費が当初予定を大幅に上回ったこと、制度利用者のアンケート結果から本制度が転居の後押しとなった回答が全体の 2 割にとどまったことなどから、特に費用対効果の面で課題の残る制度であったと総括。新たな定住政策の方針を策定し、具体的な施策を立案していく必要性が生じ、平成 26 年 3 月 都市イメージ創造発信アクションプランを策定した。

1 これまでの、一過性の直線的なインセンティブの付与から、継続した中長期の取り組み

2 様々なデータの検証、エビデンスに基づく政策立案を方針に策定した。

この策定過程においても、平成 26 年 1 月に公表された、総務省住民基本台帳人口移動報告書で、全国の自治体の中で最も社会減数の多い都市との結果が示され、(1,772 人) 強い危機感を持って定住促進に取り組む姿勢を明示した。

第1章 人口から捉える横須賀の現状

自然減の拡大(少子高齢化)と社会減少が続いている。移動圏域としては京急沿線地域との人口のやり取りが多いが他市町と比べると、人口の移動圏域がせまい。これらの現状分析から、特に結婚・子育て世代の転入促進、転出抑制が必要であり、この世代をターゲットにすることは、出生数の減少抑制にもつながる。

第2章・第3章 子育て世代が捉える横須賀の現状と条件

様々なアンケート結果から、20 歳代から 40 歳代の傾向を分析したところ、約 8 割が住みよいと感じており、また住み続けたいとも感じている。自然環境や住宅環境など居住環境への満足度が高いが、就業機会、買い物環境、子育て環境に対する満足度は低い。

専門家は、住む町としてとても魅力的であるが、市外のひとにその魅

力が伝わっていない。居住環境の良さを前面に出し、子どもが主役になれるまちとしてPRしていくことが最も効果的との示唆。

また、市外在住者が捉える横須賀は「外国人と交流する機会がある」のみが強く、自然環境の良さのイメージはない。さらに都心への遠さのイメージがあるため、「子育て・教育環境」「不動産環境」を魅力として発信し、民間事業者などと意識の共有を図ることとした。

第4章 取り組みの方針

1 定住のターゲットを20歳代から40歳代とし、子育て・教育環境・不動産環境の充実に資する施策の強化を図る。

2 魅力として発信すべき最重点分野を「子育て・教育環境」「不動産環境」とする。

3 市内・外に効果的なプロモーションを展開する。

4 民間事業者などと意識の共有を図る。

第5章 具体的な取り組み

小児医療費の対象年齢の拡大、待機児童の解消、学童クラブへの助成、教育環境の充実、公園整備などに加え、外国人が身近に暮らしているという特性を生かした取り組みとして、英語に関連する施策の充実に資する。また、交通事業者や不動産事業者との連携を強化することにも注力する。

私たちから見ると、都心にも近く、まちの名前から住みやすく環境の整ったまちとのイメージがあった。しかし、同じように人口減少が進み、都心に近いだけに就業機会に対する不満が一番多かったのには、衝撃的であった。

しかし、一度策定した制度を5年後に検証し、新たな制度に着手したことは郡山市も見習うべきであろう。

定住促進を促すため、現状の分析をきっちり把握し、そこから課題を整理して今後の取り組みを精査し、市・商工会議所・交通事業者が連携して「住むまち」の魅力を発信することは、重要なことである。

(文責； 創風会 浜津和子)

横須賀市

空き家対策について

全国的な問題となっている空き家対策について、横須賀市は日本で一番問題意識が強い自治体であると自負している。

空き家が多い理由として、「谷戸」と呼ばれる地域が斜面に住宅地が展開しており、道が狭く、行き止まり道路、階段道路が多く、古い木造住宅が密集している。そこに人口減少や少子高齢化による地域の縮減に伴い、空き家、空き地がふえてきた。

平成 22 年度、① 谷戸地区の 7,144 棟を職員が歩いて全棟調査を実施 ② 空き家は、車が入れるか否かの影響がおおきい。③ 特性を分類し、対策、処方箋を検討する。

この実態調査から、

- 活性化させていく視点
基盤整備や空き家の有効活用等を目指す視点——駅、学校、病院、商業施設が至近にある。
- 低密度化させていく視点
高齢者の平地への移動促進や土地利用の縮退を目指す視点——区域内に階段状道路、空き家が多い又は拠点市街地から遠い
- 居住者の生活防衛（暮らしやすさを守る）の視点
居住者の生活防衛に目を向けた対策を行う視点——階段状道路が多く、少子高齢化率が高い

これら 3 つの視点の要素を持つ谷戸地区をモデルとして対策構想図を策定。

- ・活性化の視点から、若年層の入居促進（空き家バンク、空き家リフォーム、建て替え補助）

空き家バンクは、不動産事業者も取り扱いをためらうような物件も存在するが、「訳あり、お買い得物件」と感じられる物件もあり、市外からの問い合わせも多い。

- ・低密度化の視点から、高齢者の平地への住み替えの促進（高齢者住宅相談事業拡充、居住高齢者転居支援事業）

大学生が居住して町内会活動の支援や高齢者見守りなどを行う事業であり、安い家賃で大学に近い空き家に住み少しだけ地域貢献に費やしてもらおうというものである。

- ・生活防衛の視点から、高齢者居住者の生活サポート（宅配サービス拡充

事業、福祉大居住支援事業)、老朽家屋対策(老朽家屋是正指導、解体費用助成事業)

解体後の空き地の有効利用として、家庭菜園整備費用補助など実施し、家の数が減ることによるまちの縮退だけでなく、ゆったり暮らす魅力的な街並みへの誘導を目的としている。

中古住宅の流通促進は、空き家対策意味だけではなく、低価格帯の安定した住宅供給により、所得が低い世帯や子育て世帯の生活の安定に貢献し、さらにリフォーム事業など地域に密着した産業の育成にもつながるとしている。

「空き家等対策の推進に関する特別措置法」にたよるだけではなく、自治体が知恵を絞り、様々な事業を行うことが、社会を活性化させることにつながると感じる。

(文責； 創風会 浜津和子)

横須賀市都市イメージ創造発信アクションプラン

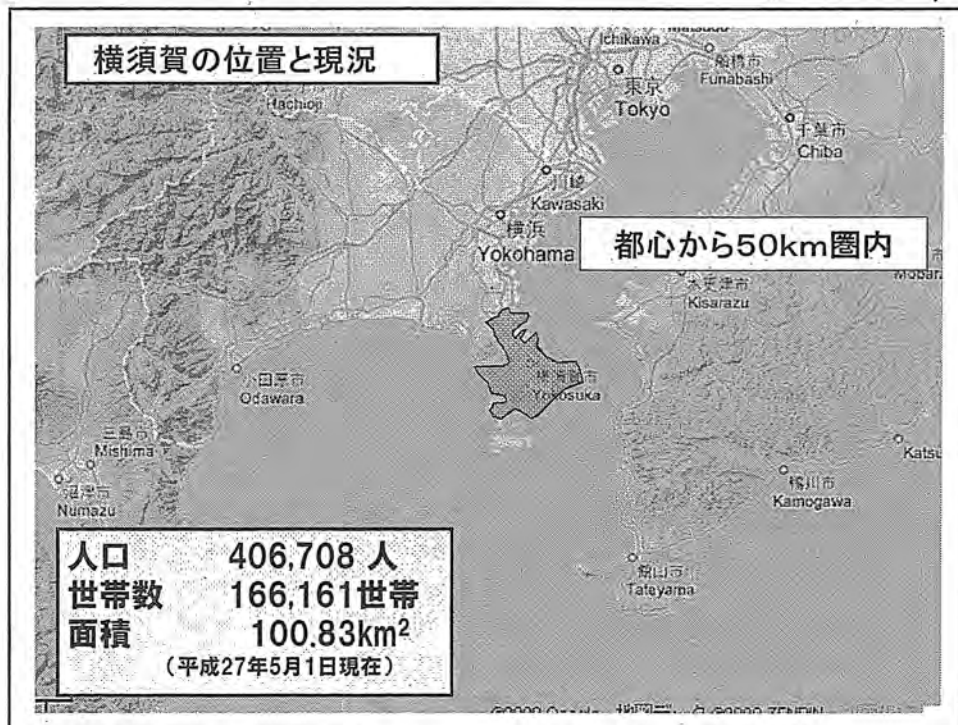
～結婚・子育て世代から「住むまち」として選ばれるために～



横須賀市政策推進部

横須賀市における 空き家対策について

横須賀市 都市部 都市計画課
住まい活用促進担当







横須賀市議会事務局長
City Council Secretariat
Director - General

福本 眞和

Masakazu FUKUMOTO

〒238-8550 横須賀市小川町11番地
TEL 046-822-8457
FAX 046-824-2663

E-mail: [REDACTED]

横須賀が好き!



横須賀市
マスコット
キャラクター
「スカリン」

横須賀市

都市部都市計画課
住まい活用促進担当課長

島 憲之

Noriyuki Shima

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地
TEL 046-822-8077 FAX 046-826-0420

E-mail: [REDACTED]

横須賀が好き!



横須賀市
マスコット
キャラクター
「スカリン」

横須賀市政策推進部政策推進課
都市イメージ創造発信担当

課長補佐

宮川 栄一

Eiichi Miyagawa

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地
TEL 046-822-8221(直通) FAX 046-822-9285

E-mail: [REDACTED]

横須賀が好き!



横須賀市
マスコット
キャラクター
「スカリン」

横須賀市政策推進部
政策推進課
都市イメージ創造発信担当

主査

水野 洋明

Mizuno Hiroaki

〒238-8550 横須賀市小川町 11 番地
TEL 046-822-9284 FAX 046-822-9285

E-mail: [REDACTED]

報告書

平成28年10月21日（金）

「江戸川区役所を訪問して」

① 読書改革プロジェクトについて

江戸川区ではそれまで各小中学校で実施していた「朝読書」を見直し、「目的を持った読書」への変換を図るために、平成21年度に「読書改革プロジェクト」を発足しました。翌22年度には「読書科検討委員会」が設置され積極的に読書活動に取り組むための方法が検討されました。その結果、平成24年4月より公立小中学校で初の試みとなる「読書科」が設立されました。

読書科の取り組みは文部科学省の教育課程特例校指定を受けて行われ、平成24年度の年間25時間から平成26年度は年間35時間で実施しました。読書科の内容は大きく分けて朝読書と読書活動の2つがあり、前者は読書に親しむ時間とし、後者は読書から学ぶ時間としています。また、指導する教員のスキルを高めるため各学校の司書教諭を対象に年3回の「学校図書館司書教諭研修」を行っているほか「読書活動指導法研修」も年3回実施しています。

読書科設立前から始まっていた学校図書館の整備についても平成19年度は約6千万円の予算だったものが平成20年度以降1億円を超え、さらに平成24年度には約10万冊購入計算となる約1億7千万円を予算計上することで、書架等の備品の整備や蔵書の新規購入を行ってきました。学校によっては廊下などの空きスペースに読書コーナーを設置したり児童生徒たちにとって居心地の良い学校図書館の環境づくりが進み、平成25年度の文部科学省の調査においては「読書が好きですか」の問いに対し江戸川区の小学生72.7%、中学生73.4%が肯定的に回答するなど、その効果が着実に根付いてきているようです。

私達郡山市においても読書を通じた豊かな人間形成を目指した読書活動を積極的に進めていく必要性を感じさせられました。

② すくすくスクールについて

江戸川区は東京都の中で平均年齢が平成28年1月1日現在42.99才と23区中4番目に若く、合計特殊出生率も平成26年に1.39人と23区中最高率となっております。そのため平成17年から10年間で24,184人の人口増加があり、小学校の学童クラブ事業において待機児童の増加や施設を増設しても需要に追いつかない等の課題を抱えておりました。そのため平成14年度に教育委員会と子ども家庭部で共同プロジェクトチームを発足し、平成

15年度すくすくスクールモデル小学校1校において実施をはじめ、平成17年度には全73校実施となりました。

そもそもすくすくスクールとは、今まで学童クラブ専用のスペースを使用運営していたものを小学校内の空きスペース全体を使用する事とし、運営を地域の人材としてすくすくスクールの校長と無償ボランティアが行い、そして教育委員会の人材として区の専門職員2～5名と区の臨時職員3～5名によって行っております。区の職員の人件費約7億円という経費が発生しますが、学童クラブ専用のスペース確保の問題や地域の方々との連携を考えれば大変有意義な事業であることは明らかです。

地域の協力により、様々なスポーツ活動や文化活動地域の祭り等を通してもたらされるメリットは以下の通りです。

1) 人間教育の場

学校、家庭では学びにくい様々な体験や世代を超えた人との触れ合いができる

2) 生きる力をつける

コミュニケーション力・創造力・発想力を豊かにする

3) 学童クラブ事業

待機児童の解消や定員・3年生まで等制限の撤廃

4) 施設の活用

学校施設の有効活用や旧学童クラブの跡地を中高生の為のスペースとして活用

5) 地域教育の振興

地域教育の拠点づくり振興や地域が学校と自然に関わる環境づくり

6) 安全安心

地域に知っている大人や子どもが増える

以上、数多くのメリットを考えれば当市においても検討の余地はあると思います。また、地域と学校の防災力の向上にもつながると思います。

文責：創風会 山口信雄

区政会館だより



読書科で学校図書館の利用の
仕方を学ぶ児童たち

児童・生徒たちは読んだ本の内容
をPOPなどに表現し、発表した



23区 最新情報

いま、ちからをいれていること

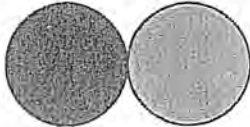
第21回
江戸川区

全国初の試み、豊かな人間形成を めざした「読書科」設置

～江戸川区「読書改革プロジェクト」の取組～

特別区長会事務局 / 特別区議会議長会事務局 / 特別区人権・厚生事務組合
公益財団法人特別区協議会 / 東京二十三区清掃一部事務組合 / 特別区競馬組合

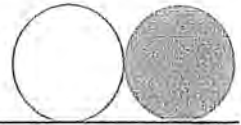
すくすくスクール事業 説明資料



江戸川区教育委員会



江戸川区の現況



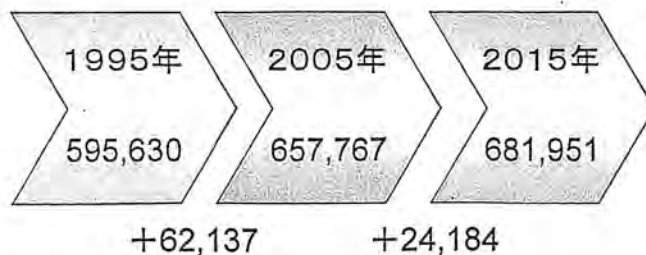
江戸川区の位置

東京都の東部に位置し、
南北に長い区です。

総面積: 49.09平方キロメートル
南北: 約13キロメートル
東西: 約8キロメートル



人口の推移 (各年4月1日現在)



◆平均年齢◆ H28.1.1
42.99才(23区中4番目に若い)

◆合計特殊出生率◆ H26
1.39(23区最高率)
毎年約6千名の新生児

8.40年代より総合施設2ヶ所を整備を計画した。





江戸川区議会事務局

のむらかすのぶ
調査係長 **野村和信**

〒132-8501 江戸川区中央1-4-1
TEL 03(5662)6736 FAX 03(3674)5875
E-mail: [REDACTED]



江戸川区教育委員会事務局

しば た やす ひろ
教育推進課長 **柴田靖弘**

〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1
TEL 03(5662)8568 (直通)
FAX 03(3674)5874
E-mail: [REDACTED]



江戸川区教育委員会

江戸川区

指導主事 **吉田佳代**

勤務先 江戸川区教育委員会指導室
〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1
電話 03(5662)1634 (直通)
FAX 03(3674)5874
E-mail: [REDACTED]



江戸川区教育委員会(事務局指導室) 学校図書館スーパーバイザー (SLS)

江戸川区

藤田利江

勤務先 江戸川区教育委員会指導室
〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1
電話 03(5662)1634 (直通)
FAX 03(3674)5874
E-mail: [REDACTED]



江戸川区教育委員会事務局教育推進課 すくすくスクール係

主査 **田中博**

〒132-8501 東京都江戸川区中央1-4-1
Tel: 03(5662)2732 (直通) FAX: 03(3674)5874
E-mail: [REDACTED]



江戸川区

教育委員会事務局
教育推進課
すくすくスクール係

係長 **武井順**

〒132-8501 江戸川区中央1-4-1
TEL 03-5662-2732
FAX 03-3674-5874
MAIL: [REDACTED]

再生紙使用

会派名 創風会 支出調書

代表者	経理責任者	起案者
		共通

区分	事由	費目金額					小計	
1	調査研究費	行政調査(盛岡市、青森市、仙台市、多賀城市)旅費として	交通費		旅費	327,160	自動車燃料費	327,160
			資料作成費		調査委託費		振込料	
2	研修費		会場費		講師謝金		出席者負担金・会費	
			交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		食糧費		振込料	
3	広報費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		広報誌(紙)		報告書等印刷費	
			送料(折込料含む)		ウェブページ掲載代		茶菓子代	
			振込料					
4	広聴費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		茶菓子代		振込料	
5	要請・陳情活動費		交通費		旅費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
6	会議費		会場費		交通費		自動車燃料費	
			資料作成費		振込料			
7	資料作成費		印刷製本費		翻訳料		筆耕料	
			振込料					
8	資料購入費		法規追録代		参考図書代		新聞雑誌等購読料	
			有料データベース等利用料		振込料			
9	人件費		賃金		社会保険料等		振込料	
10	事務所費		備品購入費		事務機器等リース代		消耗品等事務費	
			印刷代		振込料		配送手数料	
11	通信運搬・自動車燃料費		電話料等(按分)		郵便料等		自動車燃料費(按分)	
			その他					
使用者	共通	ⓐ 支出年月日	28年 10月 17日	現金出納簿 支出番号	41	合計	327,160円	

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 41

会派会長様

申請代表者氏名 佐藤 徹哉



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

請求金額	327,160円（1人あたり 81,790円） ※別紙、旅費計算書のとおり	
目的	行政調査	
用務先	盛岡市、青森市、仙台市、多賀城市	
内容	盛岡市 オムニバスタウン計画について 青森市 観光振興の取り組みについて 仙台市 学校防災教育について 多賀城市 多賀城市立図書館について	
期間	28年 10月 31日 ～ 28年 11月 2日（2泊 3日）	
行程	別紙のとおり	
出張（調査等）者氏名	・大内 嘉明	・
	・佐藤 政喜	・
	・諸越 裕	・
	・佐藤 徹哉	・
	・	・
	・	・
特記事項	なし	

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

会派会長	経理責任者		受理日	28年10月17日
			許可日	28年10月17日
			支出日	28年10月17日

上記金額を受領しました。

28年10月17日

申請代表者氏名 佐藤 徹哉



行政調査旅費計算書

会派名：創風会

参加議員：大内嘉明、佐藤政喜、諸越裕、佐藤徹哉

日程：平成28年10月31日（水）－11月2日（金）

行先：盛岡市役所（盛岡市内丸12-2）

青森市役所（青森市中央一丁目22-5）

仙台市役所（仙台市青葉区国分町三丁目7番1号）

多賀城市立図書館（多賀城市中央2丁目4-3）

10月31日	郡山駅	やまびこ203号 125.1	仙台駅	はやぶさ3号 183.5	盛岡駅	はやぶさ17号 178.4	新青森駅	奥羽本線・青森行 3.9	青森駅						
運賃	7,880													7,880	
急行料金	4,430				2,590									7,020	
グリーン	4,110				2,060									6,170	
実費															0

11月1日	青森駅	奥羽本線・弘前行 3.9	新青森駅	はやぶさ22号 361.9	仙台駅	徒歩5分	仙台駅（地下鉄）	仙台市営南北線・泉中央行 1.2	勾当台公園駅						
運賃	6,260						200							6,460	
急行料金			4,430										4,430		
グリーン			4,110										4,110		
実費															0

11月2日	勾当台公園駅	仙台市営南北線・富沢行 1.2	仙台駅（地下鉄）	徒歩5分	仙台駅	仙石線・高城町行 12.1	多賀城駅	仙石線・あおば通行 12.1	仙台駅	やまびこ52号 125.1	郡山駅				
運賃	200			※				2,270						2,470	
急行料金									2,590				2,590		
グリーン									2,060				2,060		
実費															0

※仙台-多賀城間は、前日から引き続きの乗車券を使用

交通費	43,190		43,190
日当	3,000 ×	3日 =	9,000
宿泊費	14,800 ×	2泊 =	29,600
合計			81,790 円

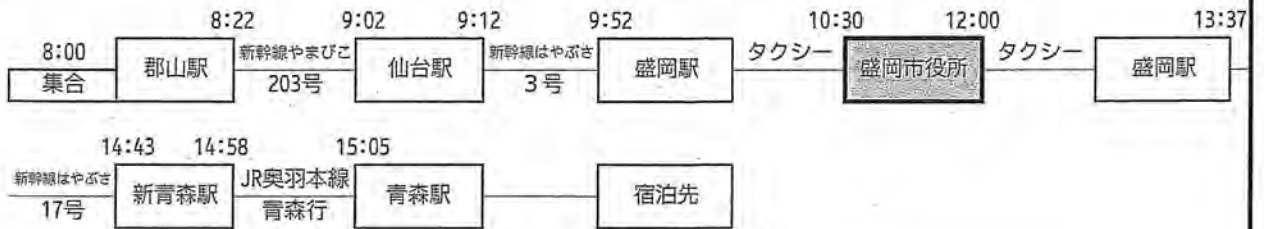
× 4名 = 327,160 円

平成28年度 創風会行政調査行程表

1 行程

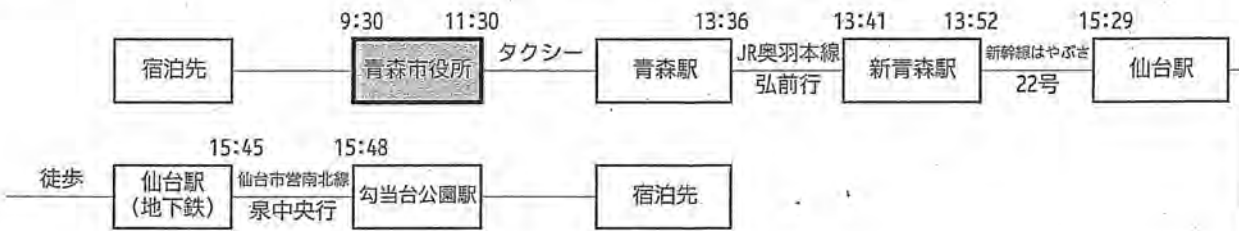
□ 1日目：平成28年10月31日（水）

盛岡市：オムニバスタウン計画について



□ 2日目：平成28年11月1日（木）

青森市：観光振興の取組みについて



□ 3日目：平成28年11月2日（金）

仙台市：学校防災教育について 多賀城市：多賀城市立図書館について



2 人員 4 名

大内 嘉明 議員
 佐藤 政喜 議員
 諸越 裕 議員
 佐藤 徹哉 議員

3 調査内容

- (1) 平成28年10月31日（水） 10：30～12：00
 盛岡市役所
 ・オムニバスタウン計画について
- (2) 平成28年11月1日（木） 9：30～11：30
 青森市役所
 ・観光振興の取組みについて
- (3) 平成28年11月2日（金） 10：00～11：00
 仙台市役所
 ・学校防災教育について
- (4) 平成28年11月2日（金） 13：30～15：00
 多賀城市役所
 ・多賀城市立図書館について（現地視察有）

4 連絡先

- 盛岡市議会事務局（担当：法領田様）
 〒020-8530 盛岡市内丸12-2 盛岡市役所本館3階
 TEL 019-626-7506
- 青森市議会事務局（担当：折目様）
 〒030-8555 青森市中央一丁目22-5
 TEL 017-734-5741
- 仙台市議会事務局（担当：後藤様）
 〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022-214-6169
- 多賀城市議会事務局（担当：田畑様）
 〒985-8531 多賀城市中央二丁目1番1号
 022-368-1141（内線：311）

5 その他





出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 41

会 派 会 長 様



下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

・大内 嘉明		・	印
・佐藤 政喜		・	印
・諸越 裕		・	印
・佐藤 徹哉		・	印
・	印	・	印
・	印	・	印

記

期 間	28年 10月31日 ~ 28年 11月 2日（2泊 3日）					
目 的	行政調査					
用 務 先	盛岡市、青森市、仙台市、多賀城市					
行 程	別紙行程表のとおり					
内容及び成果						
	別紙のとおり					
旅 費 精 算	受領額	327,160 円	精算額	327,160 円	不足額	0 円

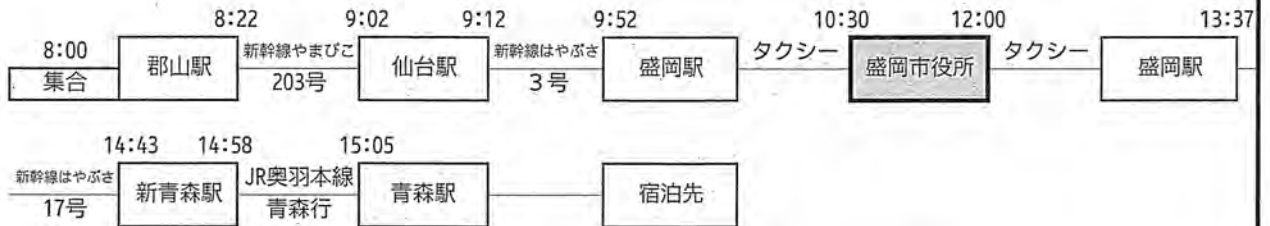
上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。					
会 派 会 長	経 理 責 任 者			受 理 日	28年 11月 4日
				確 認 日	28年 11月 4日
				精 算 日	28年 11月 4日

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

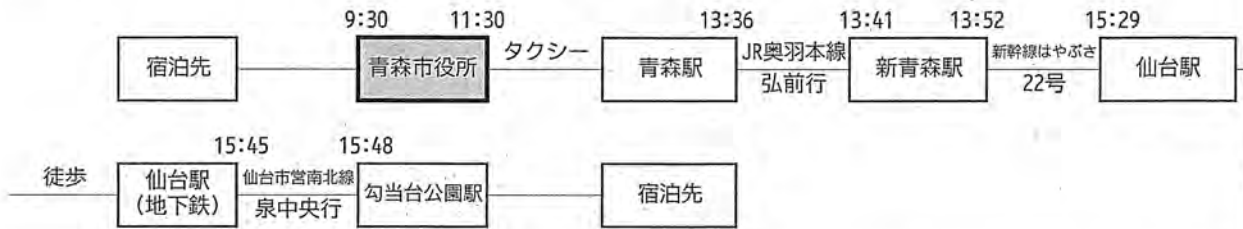
平成28年度 創風会行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：平成28年10月31日（水） **盛岡市：オムニバスタウン計画について**



□ 2日目：平成28年11月1日（木） **青森市：観光振興の取組みについて**



□ 3日目：平成28年11月2日（金） **仙台市：学校防災教育について** **多賀城市：多賀城市立図書館について**



2 人員 4 名

大内 嘉明 議員
 佐藤 政喜 議員
 諸越 裕 議員
 佐藤 徹哉 議員

3 調査内容

- (1) 平成28年10月31日（水） 10：30～12：00
 盛岡市役所
 ・オムニバスタウン計画について
- (2) 平成28年11月1日（木） 9：30～11：30
 青森市役所
 ・観光振興の取組みについて
- (3) 平成28年11月2日（金） 10：00～11：00
 仙台市役所
 ・学校防災教育について
- (4) 平成28年11月2日（金） 13：30～15：00
 多賀城市役所
 ・多賀城市立図書館について（現地視察有）

4 連絡先

- 盛岡市議会事務局（担当：法領田様）
 〒020-8530 盛岡市内丸12-2 盛岡市役所本館3階
 TEL 019-626-7506
- 青森市議会事務局（担当：折目様）
 〒030-8555 青森市中央一丁目22-5
 TEL 017-734-5741
- 仙台市議会事務局（担当：後藤様）
 〒980-8671 仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
 TEL 022-214-6169
- 多賀城市議会事務局（担当：田畑様）
 〒985-8531 多賀城市中央二丁目1番1号
 022-368-1141（内線：311）

5 その他

盛岡市オムニバスタウン事業

導入効果と今後の展望

盛岡市では平成 12 年 2 月に「オムニバスタウン指定」を受け、ゾーンバスシステムを運用している。「オムニバス」は乗り合いバスの語源で、元の意は「何の御用にでも役立つ」ということである。

盛岡市のオムニバスタウン計画は、ゾーンバスシステムを中心に、より多くの人を使いやすいバスの運行や施設の整備を図ることを目的として実施されており、大きな成果を上げている。

ゾーンバスシステムは、①新たな運行方式によるバスのサービス水準アップ、②バスの走行環境改善によるスピードアップ、③バス利用条件の改善による使いやすさアップ、以上 3 つの目標を掲げ、利用者の多い個所を中心にハイグレードバス停を設置、バスの近接情報などをバス停の端末や携帯電話で知らせるバスロケーションシステムの採用、バスターミナルに無料の駐輪場を整備し、自転車とバスの乗り継ぎを可能にしたサイクル&バスライド、自動車向けには駐車場を整備し、自家用車からバスへの乗り継ぎを促すパーク&ライドを採用、高齢者や体の不自由な方が楽に乗降できるよう低床のノンステップバスを導入し、道の狭い地域用には小型バスの運行も行うなど、利用者目線に立った様々な方法を採用している。

本市においては近日、湖南町、熱海町、富田町の 3 地域で交通実証実験が行われる予定となっており、その検証結果を踏まえ、地域交通のあり方を検討する方針が出されているが、これら盛岡の施策について、本市でも採用すべきところが多数あり、今後提唱していく。



盛岡市議会副議長

とよむら てつや
豊村 徹也



〒020-0004
盛岡市山岸三丁目23-10
TEL・FAX 019-661-4124
携 帯 090-5185-0308
E-mail [REDACTED]
<http://www.livable-yamagishi.jp>



2016 希望郷
2018 希望郷
いわて国体
いわて大会



盛岡市
建設部交通政策課

ちだ さとし
課 長 千田 敏

〒020-8530 岩手県盛岡市内丸12-2
TEL 019-651-4110 (内線) 2760
019-626-7519 (ダイヤルイン)
FAX 019-622-6211
e-mail: [REDACTED]



盛岡市 建設部 交通政策課
交通対策係長



田 村 信 昭

〒020-8530
盛岡市内丸12番2号
Tel 019-651-4110 (内線 2762)
Fax 019-622-6211(代)
Mail:koutuseisaku@city.morioka.iwate.jp
[REDACTED]
URL:<http://www.city.morioka.iwate.jp>



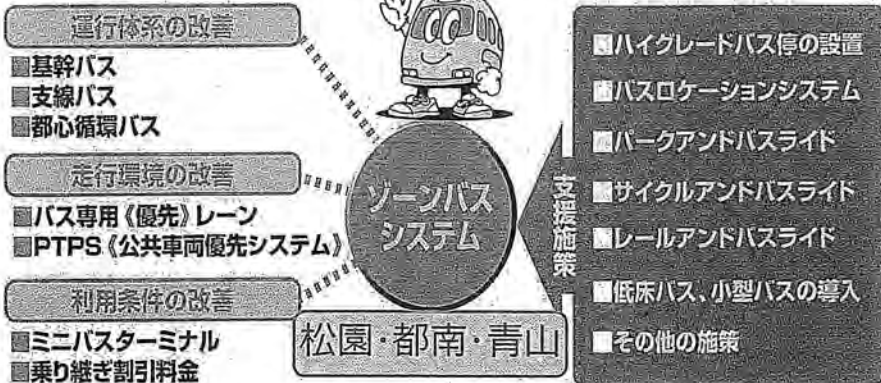
盛岡市オムニバスタウン事業 導入効果と今後の展望



平成12年2月
オムニバスタウン指定
人口 293,130人 (H28.9月末現在)
面積 886.47km²



盛岡市オムニバスタウン計画の施策体系



お知らせ、盛岡川
11:1 鹿子方面
11:41 滝沢方面
11:55 水田方面
14:30 日本たばこ

青森市

観光振興の取り組みについて

青森市では、全国的に知名度の高い「ねぶた祭り」を活かした観光プロモーションを中心に、観光振興の取り組みを行っている。

「東北六魂祭」をはじめ、「東北復興大祭典なかの」や「東京新虎まつり」、「ふるさと祭り東京」など、首都圏開催のイベントのみならず、カリフォルニア州トーランス市ミツワマーケットプレイスで行われた「RISING TOHOKU FOOD FAIR」や、イタリアミラノで行われた「ミラノ国際博覧会」など、海外のイベントにも「ねぶた」を参加させ、「青森＝ねぶた」を積極的にアピールし、国内外を問わず、プロモーションを展開している。

そのような状況の中、本年3月に北海道新幹線、新青森～新函館北斗が開通し、その取り巻く環境に追い風が吹いている。

新幹線開業に伴い、「青函圏観光都市会議」が設置され、青函エリアを一体の観光圏として構築し、その観光の魅力の増進により、国際競争力を高め、国内外からの観光旅客の来訪及び、滞在を促進しており、平成28年4月8日から平成29年2月28日まで「青函圏周遊博」を実施し、弘前市、八戸市及び周辺地域を含む青函圏にて、各地域の観光資源やイベント等を楽しむことができる、街がパビリオンとなった一体的な賑わいの創出と、周遊滞在を促進する事業を行っている。

今後は、一般財団法人地方自治研究機構と共同調査研究を行う。調査内容は外国人観光客受け入れ環境の整備に関するものを中心に、外国人観光客へのヒアリング、アンケート調査を実施し受け入れ課題を明確化して、案内板の整備・拡充などサービスを高度化するなど、インバウンド誘客に積極的に取り組んでいくという。

本市においては安積開拓事業が日本遺産認定され、これを中心とした観光誘客を図っていくにあたり、その発信など、まだまだ研究が必要であり、青森市の施策を大いに参考にすべきである。



青森市議会

副議長 竹山美虎

青森市中央一丁目二十二番五号
電話 〇一七 七三四一 一一一
直通電話 〇一七 七三四一 五六八二



青森市 経済部 交流推進課

副参事 兼 新幹線対策室長

工藤 拓実

TAKUMI KUDO

〒030-8555 青森市中央1丁目22番5号
TEL 017-734-2328 FAX 017-734-5146
E-mail [REDACTED]



青森市 経済部

観光課 副参事

横山 明典

〒030-8555 青森市中央一丁目22番5号
TEL 017-734-5179 FAX 017-734-5188
E-mail [REDACTED]



青森市 経済部 交流推進課
誘客推進チーム

主幹

田中 祐司

〒030-8555 青森市中央一丁目22番5号
TEL 017-734-2319 FAX 017-734-5146
E-mail [REDACTED]



郡山市議会 様

行政視察資料

日時 平成28年11月1日(火)15:00～

仙台市

学校防災教育について

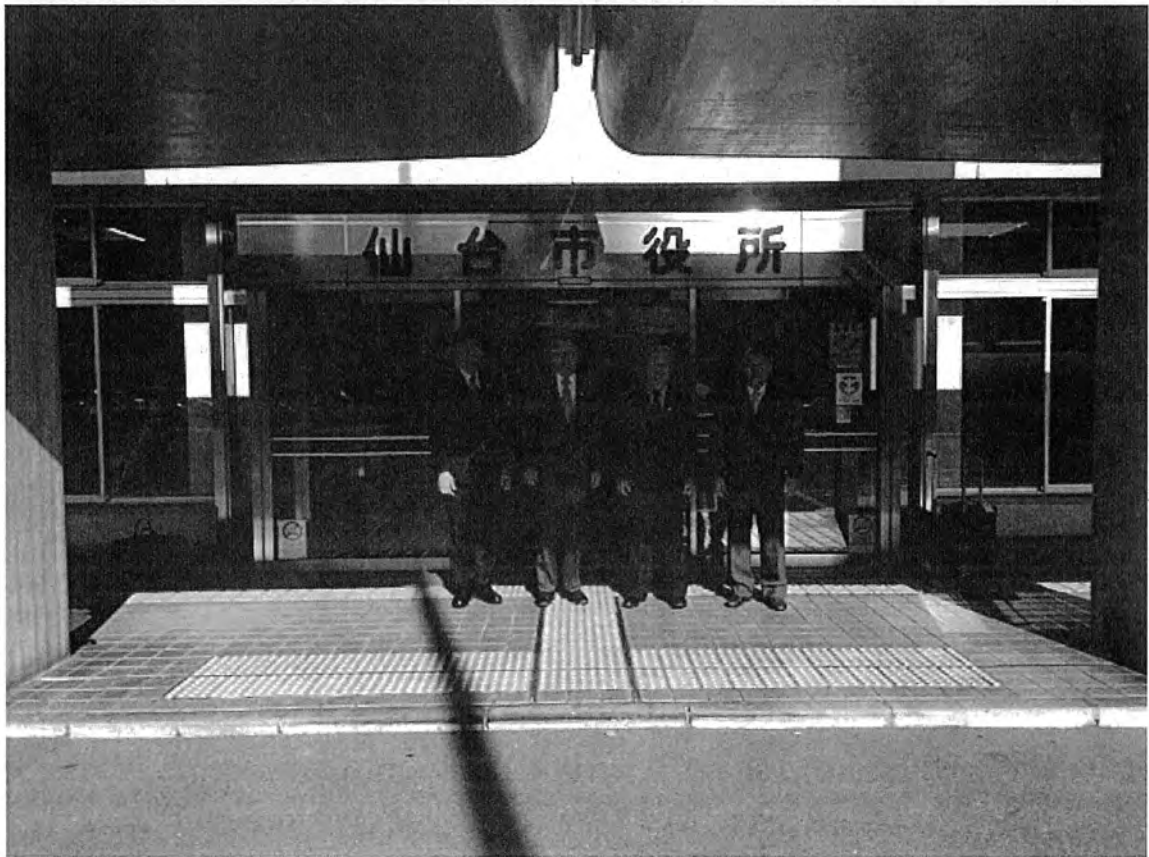
仙台市では本市同様、東日本大震災で大きな被害を受け、それによって得た多くの教訓を現在、及び後世の子供たちに残すため、震災直後から防災教育の検討に取り組んでいる。

平成 23 年度に「新たな学校防災教育検討会議」を開催し、仙台市の児童生徒が生涯にわたって必要な防災能力を習得できるよう、震災前に行っていた防災教育の在り方を根本的に見直し、新たな防災指針を作成し、その指針に基づいた防災教育を行っている。

平成 24 年には学校防災教育の全市的な取り組みを一層推進するため、市内の小中学校 18 校を「防災教育モデル校」に指定し先進的な実践を行っている。また、有識者を交えた「新たな防災教育推進協議会」を開催し、モデル校での取り組みの検証がなされ、「学校防災教育フォーラム in 仙台」が開催された。

平成 25 年度以降は同年仙台市が作成した「防災教育副読本」が全校生徒に配布され、これを用いた防災教育を行っている。この「防災教育副読本」は小学校低学年、小学校高学年、中学校と、対象の児童の年代に合わせて作成されており、小学校低学年には、①命を大切に、家族や仲間と支えあって復興に向かう意欲を持たせる。②状況に応じた判断と自己防衛力の基礎を身につけさせる。を主に、発達段階への配慮と分冊間の統一性を持たせ、小学校高学年には、①科学的知識、②まちづくり、③世界とのつながり、という 3 つのパートから理科や社会の教科書との関連性を持たせ、中学校には、「乗り越えるための知識と知恵を与える」ために、「仙台市自分づくり教育」との関連を持たせ、身近な大人からのメッセージを受け取るような作りになっている。それぞれの副読本は共通のコンセプトに基づいた 6 つの章構成になっており、第 1 章「震災の事実を記憶にとどめる」から、第 6 章「年間の学習の振り返りと補助的・発展的活用」まで、対象とする世代が理解できる内容に仕上がっている。

本市においても、震災の記憶を後世に伝え、教訓として活かすことは非常に重要であり、この副読本を参考に本市オリジナルの教材を作成、活用すべきである。





ともに、前へ 仙台

仙台市議会議長
岡部 恒司

Sendai City Education Center
仙台市教育センター
Chief of the Teaching Consultants
Reiko KUMAGAI



1-19-1 熊谷礼子
Tsurugayakita Miyagino-ward
Sendai Miyagi JAPAN
983-0825

TEL +81 22 251 7440
FAX +81 22 251 7486
E-mail:k [REDACTED]



仙台市教育局学校教育部
教育指導課

主幹兼教育課程係長 岩田 光世

IWATA MITSUTOSHI



〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目5番12号
電話 022-214-0009 / Fax 022-264-4437
Eメール [REDACTED]



仙台市教育局学校教育部
教育指導課

教育課程係

主任指導主事 高橋 和之

TAKAHASHI KAZUYUKI



〒980-0011 仙台市青葉区上杉一丁目5番12号
電話 022-214-8875 / Fax 022-264-4437
Eメール [REDACTED]



本日の話の流れ

- 1 副読本作成の目的・特徴・章構成
- 2 【平成25年度】副読本配布1年目の取組
- 3 【平成26年度】副読本配布2年目の取組
- 4 【平成27年度】副読本配布3年目の取組
- 5 【平成28年度】副読本配布4年目の取組

3

副読本作成の目的

東日本大震災の教訓

↻ 市内の小・中学生

- ① 防災・及び減災の意識を高める
- ② 命の価値や自助・共助の重要性を自覚させる
- ③ 主体的な判断力・行動力を定着させる

↓

効果的な活用を通して本市防災教育の充実を図る

4

多賀城市

多賀城市立図書館について

多賀城市立図書館は昭和53年に東北で初めて「市民のための図書館」として開館した開架式図書館で、移動図書館車、分室の設置など市内全域を対象とする図書館であった。

しかし、施設の老朽化や、増えすぎた本の管理には手狭であったり、音や声の反響を抑える設備がなかったなど、様々な課題を抱えるようになり、東日本大震災を機に「多賀城駅周辺再開発事業」の一環と位置付けられ、新築されたものである。

新しい図書館は

- ・ 地域で活躍する人材創出のエンジンとなり、地域と市民生活の発展に貢献する教育施設であること。
- ・ 東北随一の文化交流拠点の中核施設であること

をコンセプトに設計され、市民の利用率はなんと、50パーセントを超えるという。

本行政調査では、実際に施設を見学させていただいたのだが、キッズライブラリーの充実や読書通帳の無料配布など、工夫を凝らした図書業務以外にも、Wi-Fiの設置やスマートフォンの充電に使える電源付き座席など、若者が活用しやすい環境づくりがなされ、ウッド調でおしゃれな内装も相まって学生の利用率は非常に高い。また、指定管理者に「カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社」が決まり、コンビニエンスストア「ファミリーマート」が併設されている。たいへん羨ましく思うものだが、本市の図書館も本年度改修中であり、利用者の目線に立った、市民が集う憩いの図書館に生まれ変わることを切に願うものである。





多賀城市議会議員
米澤まき子
Makiko Yonezawa



多賀城市教育委員会事務局
生涯学習課

課長補佐 (社会教育主事) **伊藤 由美子**

〒985-8531 宮城県多賀城市中央二丁目1番1号
電話. (022)368-1141
FAX. (022)309-2460
<http://www.city.tagajo.miyagi.jp/>
E-mail: [REDACTED]

多賀城市立図書館の概要

1 建物の概要

(1) 敷地面積	4,052.00㎡
(2) 延床面積	7,013.75㎡
(3) 専用面積(図書館部分)	3,342.30㎡
(4) 共用部分の面積	1,038.51㎡(持分比率62%相当)

2 財産等取得費及び管理運営費

(1) 財産取得	1,828,637千円
(2) 図書館システム構築業務	107,840千円
(3) その他の経費(備品等)	5,176千円(H27予算)
(4) 指定管理料	270,494千円(H28予算)
(5) 駅北ビルA棟管理組合負担金	37,325千円(H28予算)

3 図書館(本館)の概要

(1) 開館時間	午前9時から午後9時30分まで
(2) 休館日	年中無休